



鹿児島市立
生見小学校
鹿児島市
喜入生見町
1365番地
TEL 343-0009

『まだまだいける』という気持ちで

校長 岡元晋一

もし、路上で靴磨きを始めて自らの店を持ち、今回の栄光を勝ち取ったということですか。

「かけ算をおぼえる」「なわとびで最高記録を出せるようにがんばる」「早寝・早起きをする」「友だちに優しい言葉をつかう」などなど…。これは生見小の子どもたちの3学期のめあてです。朝の体力づくりや授業中などを見ていると、子どもたちはめあての達成のために、誰に言われることなく進んで努力を続けています。そんな子どもたちの懸命な姿に、『できるでできる、大丈夫。』『すいぞ。』と日々声援を送っています。

『「いつの間にかこんなに太ったのだらう。」三浦雄一郎さんは自分の体のため息をついた。こんなメタボじゃとても雪山に登れやしない。六十歳前後のことである。不摂生が始まったのは、七大陸の最高峰をスキーで滑降する夢を達成した後。これで自分も定年だろうと考えた。鍛錬をやめたのに、酒・寿司・ステーキと、飲み食い

の量が変わえられない。血圧や血糖の数値が危険域に迫った。ゴルフをしても気分が晴れない。講演で語るのには自分の過去の話ばかり。札幌市の自宅に近い藻岩山に登ると、遠足の小学生に抜かれた。「このままじゃだめになる。何か目標をもたないと。」一念発起して体力づくりを再開。宣言通り七十歳、七十五歳、八十歳の三度、エベレスト登頂を成功させた。』と…。

一月二十一日の朝日新聞「天声人語」では、八十六歳にもかかわらず常に目標をもって挑み続けている冒険家の三浦雄一郎さんを前述のように取り上げていました。一方、二月五日の南日本新聞「かお」では、昨年日本一の靴磨き職人を決める大会で優勝した石見豪さんを紹介していました。『高校卒業後、営業マンとして猛烈に働いた。約十年を経て「燃え尽き症候群」に。仕事の目標を見失う中、近所に開店した靴磨き専門店を訪れた。靴の手入れには興味をもっていた。ところが、店のサービスは期待はずれ。「この世界なら一番になれる」と心に新たな火をと

二つの内容を読まれて、皆さんはどのように感じられたでしょうか？「人生は挑戦の連続」「夢や目標をもっているからこそ頑張れる」などとも言われます。小学生に限らず、何歳になってもスポーツでも資格取得でも習い事でも、自分がないものに挑戦したり自らをワンランク上に高めたりするために取り組む姿は、とても素敵で輝いて見えます。そんな人に憧れます。最初は自らできる小さな目標からのスタートでいいとも言われていますし、三日坊主を何回も繰り返すことで、目標達成に繋がるとも聞いたことがあります。今年も頑張り子どもたちの応援だけではなく、できれば家族みんなそれぞれ目標を定め、お互いに声をかけ合い、励まし合えるように取り組んでみると、目標を達成したときの喜びがより大きくなるのではないかと思います。いかがでしょうか？

今月の一句
つくしさん
よっこり顔だし
うれしそう
四年 生見優衣夏

未来に向かって、大きく育て！

15日(金)に、来年度生見小学校に入学してくる子どもたち4名と、その保護者の方への体験入学・説明会を行いました。今年度は入学式がなく、少し寂しい思いもしましたが、その分大きく児童数が増える気がして嬉しいです。しかも、2月1日には前之浜小学校から2名の転校生も迎えて、来年度は全校児童23名でスタートする予定です。3月には、6年生の2名を送り出さなければいけません。子どもたちには大きな未来があります。『強く・正しく・ほがらかな生見っ子の育成』のために、これからも校区の皆様方のご理解とご協力をくださいますようお願いいたします！



継続は力なり

～なわとび大会～

2月の土曜授業日(9日)に、毎年恒例の『なわとび大会』を行いました。2学期から少しずつ練習を積み重ねてきたこともあって、子どもたちも自信をもって持久跳びや、それぞれが得意とするあや跳び、二重跳びなどを披露しました。たくさんの保護者の方が見守る中で、練習の成果を十分に発揮することができたのではないのでしょうか。来年度もさらに高い目標をもって、いろいろな跳び方にチャレンジして欲しいと思いました！



【3月の主な行事予定】

- 1日(金) 持久走大会 家庭教育学級学級PTA
- 8日(金) 6年生を送る会 お別れ遠足
- 13日(水) 卒業式予行
- 21日(木) 国民の祝日『春分の日』
- 22日(金) 第72回卒業式
- 25日(月) 修了式
- 27日(水) 辞任式

